

## 潮位観測による神津島の地殻変動評価\*

# The Estimate of Crustal Deformation at Kozusima by Tide Observation

海上保安庁水路部

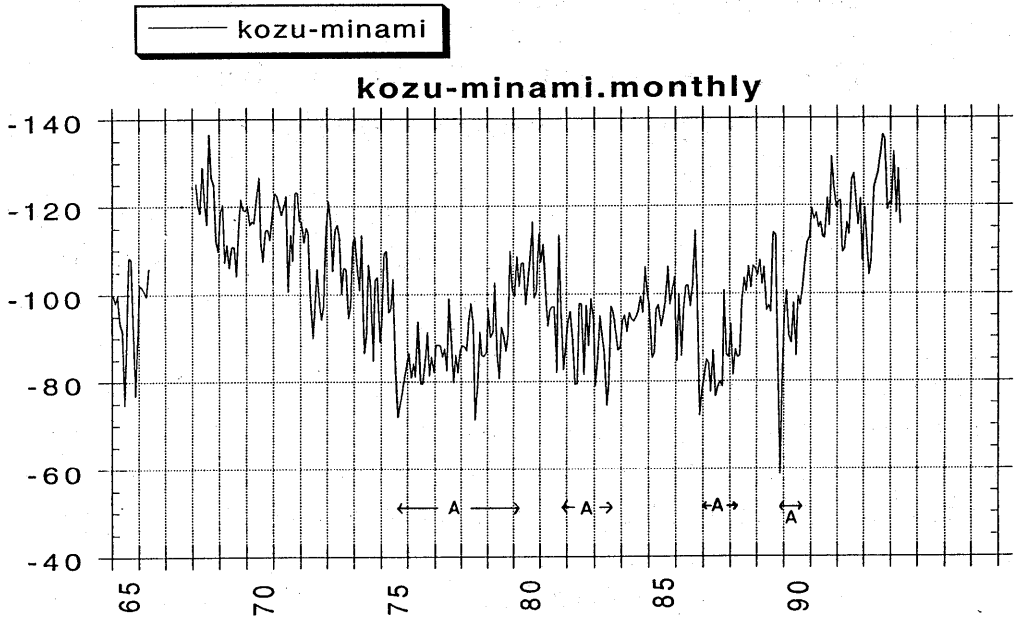
Hydrographic Department, Maritime Safety Agency

第1図に、神津島と南伊豆の月平均潮位差（神津島の月平均潮位から南伊豆の月平均潮位を引いた差）を示す。潮位の観測期間は1965年～1992年であり、図中「A」の期間は黒潮の大蛇行（A型、第2図）が現れた期間である。この間、計4回の黒潮の大蛇行（A型）期には、潮位差が「-90 cm」前後となっていて、それ以外の時期と比べ、神津島の潮位が高い傾向にある。

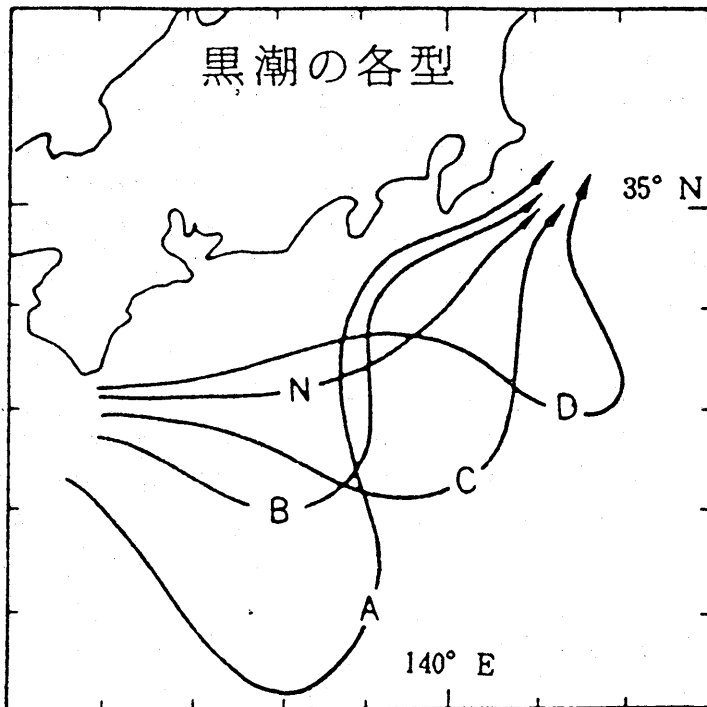
1970年前後と1991年以降には、神津島の潮位が低い傾向がみられるが、これが地殻変動によるものかどうかは、潮位データだけでは明言できないので、今後、GPS等による長期観測が必要である。

---

\* Received 12 Dec., 1994



第 1 図 神津島—南伊豆間の月平均潮位差  
 Fig. 1 The Difference in monthly mean sea levels between Kozu and Minamiizu tide stations



第 2 図 黒潮の蛇行パターン  
 Fig. 2 The flow type of Kuroshio